

地域づくりインターン・氷川アカデミー に参加しました

8月24日～9月2日の期間で、

藤澤拓斗さん
二橋達哉さん
吉田匠太郎さん

の3名が、
熊本県氷川町で行われた地域づくり
インターンに参加してきました

「氷川アカデミー」のウェブサイト：
<https://www.facebook.com/hikawa.forum/>



地域づくりインターン

熊本県氷川町(旧宮原町)では役場の企画部署が存在した「まちづくり情報銀行」を中心に、住民主体のまちづくりを行っていました。そうした取り組みは、まちづくりの先進事例として全国から注目を集めました。

同時に旧宮原町では、20年にわたって全国の大学生を地域づくりインターンとして受け入れてきており、また地域の子どもに記事の書き方学習会や県外研修に取り組む記者クラブも行っています。

このように、本地域は人材育成の拠点なのです。



↑氷川町の「まちづくり情報銀行」
現在1階部分は「秋山幸二ギャラリー」です。
隣には「まちづくり酒屋」があります。

地域づくりインターン

8月24日～9月2日



↑氷川町のまちづくりを学び

↓他大学生と交流をして



↑氷川町を見て回り(写真は立神峡)



→ワークショップ
をしたりします



氷川アカデミー

8月30日～9月1日



氷川流域連携・全国大学生政策アカデミー（氷川アカデミー）は、2012年に設立され、氷川流域をいくつかの拠点に分け、その連携による地域活性化を目指した政策提言を行います。

ほぼ同時期に開催されている登別の政策フォーラムと異なる点は、大学ゼミ単位ではなく、**複数大学からなる混成チーム**が編成されることです。

氷川アカデミー



↑まちづくり情報銀行の階段下にて。

↓政策提言大会あるある、発表当日深夜の企画しなおしの光景です。



氷川アカデミー



吉田匠太郎さんが属した「鏡チーム」は、JR有佐駅周辺の水路の問題がターゲットでした。

蛍を通じた子どもの人材育成に関する提案で「今川晃賞」(第2位)を受賞し、賞品の本をもらいました。

氷川アカデミー



藤澤拓斗さんが属した「東陽チーム」は、氷川上流の廃校の活用がターゲットでした。

ジビエを用いたBBQの提案をし、「お腹いっぱい賞」(笑)を受賞しました。